科目名	日本語理解B（散文読解） Japanese B: Prose Reading						
科目担当者	堀下 翔 HORISHITA Kakeru						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科 [総合教育科目 総合講座] 経営学部・経営学科 [総合教育科目 総合講座]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(3)
授業の概要	<p>「文章を読む」というのは意外に難しいことです。意識しなければ、書かれていることを書かれている通りに読むことさえ、流し読み、飛ばし読み、恣意的な解釈、誤読といった壁に邪魔されてしまいます。「読む」スキルを上げるためには、質と量の両方を意識した読書体験が不可欠です。本科目では、基礎的なリテラシー向上を目的とし、まずは「文章を読む」ことのよこごびを体得することを目指しながら、書かれていることを書かれている通りに読むという、一見すれば誰にでもできそうな、しかし意外に困難な行為を実践します。読みやすい本（小説）1冊を教科書として指定する回があります（第5～9回）</p>						
授業の到達目標	<p>① 恣意的な解釈に陥らずに文章を読解することができるようになる。 ② 文章を適切に要約し、第三者に伝えることができるようになる。 ③ 読解のスキルを自身の文章執筆に活かす。</p>						
授業計画・内容	1	ガイダンス—書かれていることを書かれている通りに読めますか					
	2	新聞記事—①適切に要約する					
	3	新聞記事—②自分で記事を探し、他者に説明する					
	4	音読と黙読—「読む」と認知資源					
	5	小説—①『成瀬は天下を取りに行く』『ありがとう西武大津店』					
	6	小説—②『成瀬は天下を取りに行く』『膳所から来ました』					
	7	小説—③『成瀬は天下を取りに行く』『階段は走らない』『線がつながる』					
	8	小説—④『成瀬は天下を取りに行く』『レッツゴーミシガン』『ときめき江州音頭』					
	9	小説—⑤『成瀬は天下を取りに行く』総括					
	10	評論—①大学入試の現代文（1）					
	11	評論—②大学入試の現代文（2）					
	12	評論—③公務員試験の文章理解（1）					
	13	評論—④公務員試験の文章理解（2）					
	14	評論—⑤公務員試験の文章理解（3）					
	15	総括—受講生による本の要約の講評					
授業外学修 (事前学修)	・事前に配布するテキストを熟読する（毎週1時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業外課題に取り組む（毎週2時間程度） ・受講生が自由に本を3冊選び、隙間時間に読む（15時間程度） 						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業外課題 ・期末試験 					40% 60%	①、②、③ ①、②、③
成績評価基準	<p>秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	・宮島未奈『成瀬は天下を取りに行く』（新潮社、2023年）						
参考文献	指定しない						
その他	「日本語理解A」を履修済であることが望ましいが、必須条件ではない。						